

# 2018年日本切手発行状況

昨年の報告（会報66号）で日本切手の発行は2000年を境に発行枚数の乱造から種類数の乱造へと変化してきていることを指摘した。2018年も変化は見られず表1の様に54件、623種の切手が約10億2千万枚発行されており、2016年に次いで件数、種類とも2番目に多く発行された（2016年59件643種類）。この結果、2018年末には日本切手の種類は小型シート、ペーン等の選択に差があるとしても9500種±200前後になったと考えられ、2019年には消費税値上げ、即位の礼、ラグビー世界大会等を考えると1万種になることは確実と思われる。

## 分野別発行状況

分野別に発行状況を整理したのが表2である。整理を必要としない状態である。ふるさと切手は天皇参加・行幸啓切手の感であり、もはや特殊切手≒日本切手である。今後、留意したいのが、販売品なる付帯品をつけて発行される切手である。その発行件数、種類数、高額料額もさることながら、実用に疑問の付帯品内容にも留意していく必要がある。

表2 切手分野別発行状況

分野	件数	種類	発行枚数	1件当り種類	1件当り発行枚数	1種当り発行枚数
ふるさと切手	2	20	1200	10.0	600.0	60.0
特殊切手	45	555	97470	12.3	2166.0	175.6
年賀切手	2	6	3030	3.0	1515.0	505.0
販売品	5	43	99	8.6	20.1	2.2
総計	54	623	101799	11.7	1920.4	164.7

## 内容別発行状況

特殊切手を内容別に整理したのが表3である。グリーティング切手、シリーズ切手が種類数、発行枚数で80%を超えて、日頃感じていることを裏付けるものである。注意されたのが記念切手である。件数では20%であるが、種類では10%足らずで、発行枚数では6%と少ない。このことをシリーズ切手等と比較しやすく図示したのが図1である。記念切手の特徴と解釈すればそれまでであるが、過去の

表1 2018年発行切手一覧

番号	内容	通称	種類	発行枚数	切離
1	毎年発行	国土緑化（福島県）	10	700	目打
2	毎年発行	73回国民体育大会（福井県）	10	500	目打
3	毎年発行	趣味週間	2	700	目打
4	毎年発行	国際文通週間	6	1800	目打
5	毎年発行	ふみの日	10	2000	シール
6	年賀	年賀平成30年用	2		目打
7	年賀	年賀平成31年用	4	6200	目打
8	記念	日露交流年	2	600	目打
9	記念	社保労務士制度50周年	2	600	目打
10	記念	灯台150周年	5	700	目打
11	記念	ラグビーワールドカップ2019	7	490	目打
12	記念	100回高校野球大会	10	1000	目打
13	記念	小笠原諸島復帰50周年	10	600	目打
14	記念	北海道150年	10	600	目打
15	記念	日本・スウェーデン外交150年	10	700	目打
16	記念	明治150年	10	1000	目打
17	シリーズ	日本の建築シリーズ3集	2	800	目打
18	シリーズ	和の文様シリーズ4集	10	1000	シール
19	シリーズ	天体シリーズ1集	10	3500	シール
20	シリーズ	おもてなしの花シリーズ10集	10	3000	シール
21	シリーズ	天然記念物シリーズ3集	10	1000	シール
22	シリーズ	和の食文化シリーズ4集	10	1500	シール
23	シリーズ	絵本の世界シリーズ2集	10	2000	シール
24	シリーズ	おもてなしの花シリーズ11集	10	3000	シール
25	シリーズ	3世界遺産シリーズ宗像・沖ノ島	10	500	目打
26	シリーズ	日本の夜景シリーズ5集	10	1000	目打
27	シリーズ	楽器シリーズ1集	15	3000	シール
28	シリーズ	身近な動物シリーズ5集	20	2000	シール
29	シリーズ	My旅シリーズ3集	20	1500	シール
30	シリーズ	My旅シリーズ4集	20	1600	シール
31	シリーズ	森の贈りものシリーズ2集	20	2000	シール
32	シリーズ	鉄道シリーズ6集	20	1200	目打
33	シリーズ	建築シリーズ3集小型シート販売品	4	8	目打
34	シリーズ	Myレターブック（富士山）販売品	5	15	シール
35	シリーズ	Myレターブック（九州）販売品	5	20	シール
36	シリーズ	食文化シリーズレターセット販売品	24	48	シール
37	グリーティング	グリーティング（シンプル82円）	1		シール
38	グリーティング	海外グリーティング（差額用）	2	300	目打
39	グリーティング	ハッピーグリーティング	9	900	シール
40	グリーティング	春のグリーティング	10	2000	シール
41	グリーティング	海のいきものシリーズ2集	10	3000	シール
42	グリーティング	ファッション	10	1200	シール
43	グリーティング	夏のグリーティング	12	3120	シール
44	グリーティング	ムーミン	20	3400	シール
45	グリーティング	伝統・文化シリーズ1集	20	2000	シール
46	グリーティング	ハローキティ	20	2000	シール
47	グリーティング	グリーティング（ライフ・花）	20	2000	シール
48	グリーティング	動物シリーズ1集	20	2000	シール
49	グリーティング	秋のグリーティング	20	2000	シール
50	グリーティング	ぼすくま&くまモン	20	2000	シール
51	グリーティング	冬のグリーティング	20	2000	シール
52	グリーティング	ディズニーキャラクター	20	2400	目打
53	グリーティング	ハッピーグリーティング	30	3000	シール
54	グリーティング	ぼすくまおたよりセット 販売品	4	8	シール

注：販売品はレター、封筒等、切手以外のものを含み切手料額以上で販売されたもの。郵便会社は2017年までは販売品と表示してたが、今年からは特別編：切手&レターセット、レターブック等の名称で切手と異なる名称を用いている

表3 特殊切手の種類別発行状況

	件数	種類	発行枚数	件数	種類	発行枚数
グリーティング切手	21	303	48530	48%	48%	55%
シリーズ切手	17	210	36539	32%	34%	29%
記念切手	9	66	6500	17%	11%	6%
年賀切手	2	6	3030	4%	1%	3%
毎年発行切手	5	38	7200	9%	6%	7%
総計	54	623	101799	100%	100%	100%

毎年発行切手：切手趣味、国際文通、ふみの日+国民体育大会、国土緑化

記念切手の発行状況と比較したのが図2である。10種での発行枚数は過去に図2のように1種で発行されていた。どちらが記念切手として望ましい発行の形であろうか。また今年も、2005年発行日本山岳会100周年記念切

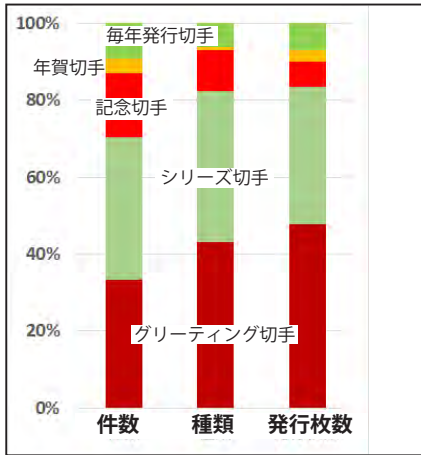


図1 発行件数、種類、枚数別に見た切手の種類

**最多発行枚数記念切手**  
第100回高校野球大会  
10種 1000万枚

過去 1000万枚  
発行切手  
1958年関門トンネル竣工 1000万枚

**最少発行枚数記念切手**  
北海道 150年  
10種 600万枚

1960年奈良遷都 1250年 1000万枚

---

1957年国際地球観測年 600万枚

2017年民生委員 100周年 600万枚

図1 記念切手の発行を考える

手以来、はがき料金記念切手は発行されず、さらに、2011年日本国際切手展以来、記念シール切手も発行されていない。

次に、グリーティング切手、シリーズ切手の発行枚数も過去の切手と比較してみたのが図3、図4である。図から適度な発行枚数よりも収集家としては良質な切手の適度な種類数の発行を重視したい。

先進国で発行種類が多いと感じられるフランスでも年間200~300種程度あることを考え、建築シリーズ切手のような種類、枚数での月3~4回程度の発行が望まれる(図5)。

**最多発行枚数グリーティング切手**  
ムーミン 20種 5700万枚

過去大量発行切手  
3000万枚 5000万枚

海のいきものシリーズ 10種  
3000万枚

3500万枚 5000万枚

ハッピーグリーティング  
30種 3000万枚

図3 グリーティング切手の発行を考える

**最多発行枚数シリーズ切手**  
天体シリーズ 10種 3500万枚

昔ばなしシリーズ  
4300万枚

自然保護シリーズ  
4500万枚

国宝シリーズ 3500万枚

楽器シリーズ 15種 3000万枚

古典芸能シリーズ  
3200万枚

図4 シリーズ切手の発行を考える



図5 望ましいかと思える種類、発行枚数

### 切手の印刷状況

印刷方法、印刷会社とも昨年と変わらない状況でオフセット印刷がほとんどで、印刷会社も凸版印刷、Cartor Security Printing の2社で約80%を印刷していた。発行枚数では日本製切手がどうか半数以上は維持できていた。しかし、記念切手の70%は外国製であり、残り30%も凸版印刷で国立印刷局では1枚もない。Phil@poste社は明治150年切手1件10種のみ、国立印刷局がオフセット印刷に関わっているのは凹版+オフセットで建築シリーズ特別小型シート1件4種のみである。

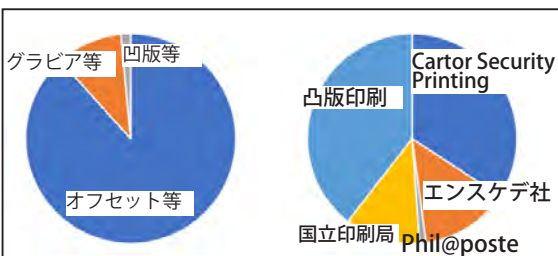


図6 印刷方法、印刷会社の割合 印刷枚数



凹版+オフセット  
歓喜院 聖天堂

Phil@poste社印刷  
明治150年切手

印刷方法と会社の関連をみると表4のようにオフセットは海外の3社と凸版印刷で印刷し、オフセット以外は国立印刷局が印刷するという分業ができてきているようである。(注：国立印刷局でオフセット+凹版印刷8万枚建築シリーズ特別小型シートがある)

表4 印刷会社と印刷方法別印刷枚数 万枚

印刷会社	オフセット等	グラビア等	凹版等	合計
Cartor Security Printing	34850			34850
JOHLENSCHEDE STAMPS	13900			13900
Phil@poste	1000			1000
国立印刷局		10350	1508	11858
凸版印刷	40191			40191
総計	89941	10350	1508	101799

### シール切手状況

昨年、シール切手が特殊切手の半分以上(件数の70%、枚数の80%)を占めたことから、日本切手はシール切手の時代に入ったことを指摘した。郵便会社のホームページも今年から郵便切手(のり式)郵便切手(シール式)という表現を使用し、従来の目打切手をのり式と表現するようである2018年も昨年同様シールが件数、種類、枚数とも60%を超え、ネットショップではすべての切手に「シート単位の販売です(のり式の商品は郵便局では1枚単位で購入いただけます)」という一文が添えられ、「切手=シール」の時代となったことを実感させられる(図7)。

シール切手で注意すべきは切手の種類による差である。表5のように目打切手は記念切手と50年以上発行されている長寿切手(国

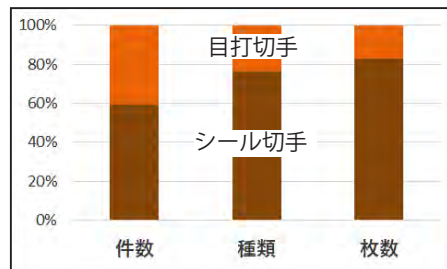


図7 2018年シール式、目打(のり式)切手の割合

表5 シール、目打式と切手の種類 万枚

切手	グリーディング	シリーズ	記念	年賀	毎年発行	総計
シール切手	48230	33131			3000	84361
目打切手	300	3408	6500	3030	4200	17438
総計	48530	36539	6500	3030	7200	101799



目打グリーティング切手唯一の1件2種の海外グリーティング(差額用) シールふみの日切手体、国土緑化、切手趣味、国際文通、年賀)と例外的なシリーズ切手(夜景、鉄道、世界遺産、建物シリーズ)、1件2種だけのグリーティング切手だけである。今年からふみの日切手もシール切手になっている。来年以降、どの長寿切手がシール切手になっていくか気がかりである。

### 販売品

2016年より13件101種発行されてきた販売品なるレターセット、ハードケース小型シートに1件の販売品にお菓子なレターセットが出現した。このレターセット、四季の和菓子6種計24種の切手シートと同じサイズの解説書と一筆箋、封筒と収納箱作成用紙のセットである。切手と解説書を季節ごとに切離し、折ると豆本になり、収納箱作成用紙で作る箱に収納するという(図7)、従来のものと性格が異なり、とても理解できるものでない。今後の販売品の内容が心配である。



図7 切手を豆本にして、収納箱に、細工用品のような販売品。切手離れを促進するようなものであろう

### デザイン等

昨年、指摘した一見では全く同じと判断せざるを得ない切手発行が数を増している。ハッピーグリーティング切手30種である。



図8 判別が困難切手のシート3種のうちの1料額シート地と図からみると、昨年は図としてのデザインに違いを見出さなければならなかったが、今年は地としての背景に違いが使用され、一層判別が困難な切手が10種、3料額発行され(図8)、使用済み切手を楽しむ身にとっては厄介である。

次にデザインではなく切手発行目的表示語が気になる。スウェーデンとの外交関係樹立150周年切手の「日本・スウェーデン」の表示である。同じ外交関係樹立150年記念で発行された切手との違いである。昨年の「日デンマーク外交関係樹立150周年」切手には「日デンマーク」と表示され、「本・」表示の有無が異なるのである。会報66号<sup>注</sup>の切手偏見で述べたことが、また見られた。しかも今回気が付いたのが、図9のように英語表示も異なることである。日本語表示と同じく略した表示があるようである。参考までに他の「外交関係樹立□周年」等の切手について調べたのが図10である。どうも、「日本・□□外交、修交…」の場合は「Relations between Japan

	デンマーク	スウェーデン
切手		
日本語表示	日デンマーク外交関係樹立150周年 日デンマーク外交関係樹立150周年	日本・スウェーデン外交関係樹立150周年 日本・スウェーデン外交関係樹立150周年
英語表示	Celebrating the 150th Anniversary of Japan-Denmark diplomatic relations Celebrating the 150th Anniversary of Japan-Denmark diplomatic relations	The 150th anniversary of the establishment of diplomatic relations between Japan and Sweden The 150th anniversary of the establishment of diplomatic relations between Japan and Sweden

図9 同一記念事項2件の切手での表示の比較


切手画像	日本語	英語
	日ケニア外交関係樹立 50 周年	50th Anniversary of Japan-Kenya Diplomatic Relations
	日・シンガポール外交関係樹立 50 周年	The 50th Anniversary of Singapore-Japan Diplomatic Relations
	日・モルディブ外交関係樹立 50 周年	The 50th Anniversary of Japan-Maldives Diplomatic Relations
	日本・スイス国交樹立 150 周年	150Years of the Anniversary of Establishment of Diplomatic Relations between Switzerland and Japan
	日本・ベルギー友好 150 周年	150Years of Diplomatic Relations between Japan and the Kingdom Belgium

図 10 類似記念事項 5 件の切手の表示比較

and □□」と表示され、「日・□□」、「日□□」の場合は「(Relations) Japan - □□」と表示しているようだ。この表示の差は何を意味しているかは定かでないが、外務省の扱いの縛りを郵便会社が切手にも差をつけ表示しているらしい。相手国の人がこの表示の差を知ったらどのように感じるであろうか。切手にまで官庁の慣例表示(?)が必要なのであろうか。

### 年間切手購入費用

費用計算は発行切手全種類の料額を積算すればすむことであるが、販売品の切手料額と売価の差と、シール切手ハッピーグリーンティング切手のように 9 種の切手料額と余分となる 21 枚を含む 3 シートの購入費の差等を考慮するという面倒が存在する。普通切手料額

がない 8 円切手の代わりに、差額用切手が記念切手に出現することに驚かされた。



図 11 普通切手がない 8 円切手に代わる差額用切手 3 種のシート

こんなことを考えつつ、1 枚づつ購入を想定、計算すると、切手料額合計は 49016 円となり、今年も 5 万円を超える出費が求められた日本切手であり、日本切手収集をとっくやめていた賢明さを感じる。

### 最後に

切手のことではないが、郵便会社の切手に関する情報提供がおざなりになり、ただ形式的な事項の発表になって、切手を粗末に扱ってしまっている感を強く感じる平成最後の年・2018 年である。郵便会社 HP の年度発行一覧を開き、クリックするといきなり注文ページに行き、カートが待っている。昨年までは切手紹介と注文ページは別であったと記憶する。

例示切手	左切手の説明文	各集全体説明文字数
 夜景シリーズ四集 2017 年	若草山焼きは奈良県奈良市で毎年 1 月第 4 土曜日に開催される冬の伝統行事です。大花火が打ち上げられた後、33ヘクタールの若草山の草地に一齐点火が行われ、澄みきった美しい冬の夜空が炎で赤く染め上げられます。	1218 文字
 夜景シリーズ五集 2018 年	中国・四国・九州地方及び沖縄県の夜景等を切手としました。松江水燈路・島根県	182 文字

図 12 同一シリーズ切手の説明文の比較

更に、切手紹介内容が貧弱になってしまっている。例えば、夜景シリーズ切手の 1 枚を比較したのが図 12 である。切手はその国の文化の鏡だといわれていたこと、を少しでも感じられる切手の紹介だけはせめて期待したい。これ

だけ多くの切手が発行されては大変だと思いがぜひお願いしたい。(編集子)

注：<http://www.12.plala.or.jp/kawaya/postagestamp/18stamps.pdf>

編集幹事を辞することができず、恥ずかしながら継続の記事になりました。